

令和2年度 福島市社会福祉審議会 議事録（概要）

開催日時	令和2年6月19日（金） 10：00開会 10：40閉会
開催場所	福島市市民会館 第2ホール
出席委員	赤間啓太委員・荒井真由美委員・荒木健夫委員・安齋精児委員 ・安齋節子委員・氏家京子委員・遠藤寿海委員・小熊弘人委員・片寄一委員 ・菅野廣男委員・菊田由香委員・神戸信行委員・古関久美子委員 ・後藤洋孝委員・紺野淳委員・佐藤秀雄委員・柴田秀典委員 ・関根恵美子委員・関根未希委員・立花由里子委員・野地妙子委員 ・長谷川美香委員・細谷實委員・三浦辰夫委員・柳沼靖子委員 ・山田和江委員・山田妙子委員・横田照彦委員・横山卓也委員・吉田務委員 ・渡辺真紀委員
事務局	<健康福祉部> 健康福祉部長、健康福祉部次長、地域福祉課長、障がい福祉課長、長寿福祉課長、担当職員 <こども未来部> こども未来部長、こども政策課長
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	1名
会議次第	○福島市社会福祉審議会 (1)開会 (2)あいさつ (3)福島市社会福祉審議会の概要について (4)委員長・副委員長の選任 (5)議事 ・議案第1号 専門分科会委員及び部会委員の指名について (6)報告事項 ・各専門分科会活動実績報告 (7)閉会

議事の内容

<p>○福島市社会福祉審議会</p> <p>(1)開会</p> <p>(2)あいさつ (健康福祉部長)</p> <p>(3)福島市社会福祉審議会の概要について</p> <p>(4)委員長・副委員長の選任</p> <p>(5)議事 議案第1号 専門分科会委員及び 部会委員の指名について</p> <p>(6)報告事項 各専門分科会活動実績報告</p>	<ul style="list-style-type: none">・本市の福祉行政への協力及び福島市社会福祉審議会委員としての取り組みに感謝申し上げる。・残念ながら昨日コロナウイルス感染症患者が1名発生。・審議会は本市の福祉計画の最上位計画で、子どもから高齢者、障がい者まで幅広い分野に関わる事項について、ご意見、ご助言をお願いする。 <p>・趣旨としては、本市の中核市移行に伴い社会福祉法の規定により福島市社会福祉審議会を設置したところである。</p> <p>・委員長は委員の互選。本市では審議会の中に本市独自を含む5つの専門分科会が設置されている。各委員の方にそれぞれ所属の専門分科会にてご審議いただく。</p> <p>・子どもから高齢者まで切れ目のない福祉政策の推進を目指す。</p> <p>・前委員長の新村繁文委員の辞任により空席となった委員長について、福島市社会福祉審議会条例第4条第1項に基づき委員の互選により副委員長の遠藤寿海委員を委員長とすることが承認され、福島市社会福祉審議会条例第4条第2項に基づき空席となった副委員長に片寄一委員を選出した。</p> <p>・遠藤寿海委員長より各専門分科会及び部会への指名が行われた。</p> <p>・各専門分科会担当課長より、各専門分科会の経過報告、重点的な取り組み事項等の報告が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none">・民生委員専門分科会 民生委員・児童委員候補者について市長からの諮問に答申する。前回の審議会回以降3回実施。今後は候補者が発生の都度審議。・地域福祉専門分科会 地域福祉計画策定の進行管理、新たな計画の策定にご意見をいただく。 前回の審議会以降3回実施し、現計画の進行管理、地区懇談会やアンケートの内容等を踏まえ、計画の方向性を確認。今後は素案の検討・パブリックコメントを経て策定。・障がい福祉専門分科会 「障害のある人もない人もともに生き生きと暮らせる福島市づくり条例」を制定し、市・事業所の役割を明記し、虐待・差別の禁止、社会における様々な障壁の排除等を定める。今年度に第6期障がい福祉計画、第2期障がい児
--	---

福祉計画を策定予定。

・高齢者福祉専門分科会

高齢者福祉計画・介護保険事業計画の見直しに向けたアンケート、施策の進捗について審議。いきいきももりん体操、地域包括支援センターの圏域見直し、ケアマネジメント相談会等を実施した。今後地域づくりを結び付ける仕組みづくり、支え合いの部分が弱いので、その部分に力を入れていきたい。

・児童福祉専門分科会

子ども・子育て支援事業計画の策定、子育て支援に関する実施状況の助言を得る組織。今年度からの第2期子ども子育て支援計画について、審議により児童虐待や、放課後児童クラブの地域との連携について内容を追加した。

・質疑

Q：子ども・子育て新ステージプランについて、各分科会への配布は行われているか。配布されていないのであれば、ぜひ配布をお願いします。

A：未配布のため、早速配布させていただく。

(7)閉会